

# 月刊 社会保険 10

2022 VOL.867

一般社団法人  
全国社会保険協会連合会

## 日本年金機構からのお知らせ

「令和5年分公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」をお送りしています  
短時間労働者の適用拡大(令和4年10月制度改正)

## 協会けんぽからのお知らせ

【事業主・加入者のみなさまへ】令和4年度被扶養者資格再確認について  
臓器移植法施行から本年度で25年です。

骨髄バンク、公的さい帯血バンクへのご理解・ご協力をお願いします  
～ひとりでも多くの患者さんを救うために今知ってほしい10の項目～

【事業主のみなさまへ】育児・介護休業法 改正ポイントのご案内

全ての都道府県で地域別最低賃金の改定額が答申されました



## 日本年金機構からのお知らせ

- 「令和5年分公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」をお送りしています 5
- 短時間労働者の適用拡大(令和4年10月制度改正) 6

## 協会けんぽからのお知らせ

- 【事業主・加入者のみなさまへ】令和4年度被扶養者資格再確認について 8

- 臓器移植法施行から本年度で25年です。 10

- 骨髄バンク、公的さい帯血バンクへのご理解・ご協力をお願いします  
～ひとりでも多くの患者さんを救うために今知ってほしい10の項目～ 12

- 【事業主のみなさまへ】育児・介護休業法 改正ポイントのご案内 14

- 全ての都道府県で地域別最低賃金の改定額が答申されました 16

- 労働法のポイント 第6回 休憩(労基法) 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス 18

- 年金・健康保険委員活動報告 社会保険委員会を次世代に引き継ぐために  
医療法人保善会 田上病院 事務長 石田 弘司 20

- 新たな時代の働き方改革 —AI分析でわかった トップ5%社員に共通する習慣  
第6回 成果を出し続けるチームが実践していた4アクション 株式会社クロスリバー代表取締役社長 越川 慎司 22

- 書評 萬田 緑平 著/「家で死のう!」 24

- 企業との協働がもたらすもの —“がん患者”から“生活者”支援へ  
第6回 発酵食品のおいしさと、調味料の便利さががん治療中の食を少しでも豊かに  
キッコーマンこころダイニング株式会社 NPO 法人キャンサーリボンズ 編 25

- 認知症を予防する⑤ 第6回 小児期の肥満が中年期の認知機能に影響  
お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二 28

- 社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36  
特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ

表紙写真・竹内敏信事務所/イラストレーション・水森亜土/デザイン・編集協力・(有)フェイム/印刷・(株)エイエヌオフセット

## 表紙のこぼれ——照る日・曇る日「霞む富士」

山梨県/北杜市



スッキリと澄んだ空気で見える富士は確かに美しい。しかし、写真のように若干霞んでいてもいいじゃないか、と私は思う。写真に絶対はない。決まりもない。もっと自由でいいのである。型にハマりすぎる表現ほどつまらないものはない。だから私は撮影の名スポットは避け、私自身が見つけた自分の場所から撮影をしているのだ。

写真/竹内敏信 文/TAフォト&サウンドオフィス



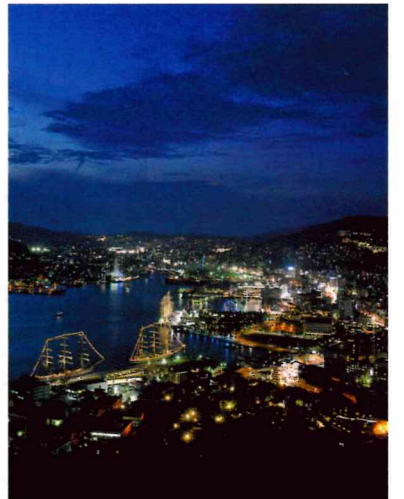
## 社会保険委員会を次世代に引き継ぐために



医療法人保善会 田上病院 事務長  
石田 弘司

### ●地域の紹介

私が生まれ育った長崎市は、江戸時代に唯一開かれた出島に多様な外国文化の光が入ることで、独自の文化が発展しました。それは「和華蘭文化」とも呼ばれることもあり、日本・中国・オランダの和洋折衷という形で表現されてきました。その特徴は建物に



鍋冠山(なべかんむりやま)からの夜景  
(写真提供:長崎市)

息づき、長崎南地区のグラブパークや大浦天主堂・中華街など、まさに異国情緒ただよう街並みに触れることができずし、食文化としては、卓袱料理・ちゃんぽん・皿うどん・カステラなどに今も受け継がれています。近年では世界遺産も多く認定され、軍艦島や教会群といった観光地長崎はとにかく見どころが満載です。その多くは各地に点在していることから、長期滞在でゆっくり散策していただきたい街なのです。長崎くんち・精霊流し・ランタンフェスティバルの祭催事も見逃せませんので、観光とあわせてお楽しみいただきたいものです。また世界新三大夜景に選ばれた長崎の夜景は、多方向から「鶴の港」と呼ばれた長崎港を眺めることができ、それぞれ違った輝きの中に趣きを感じられて、都会の輝きにはない港町ならではの灯の美しさがあります。

今年9月の九州新幹線西九州長崎ルートの開業で、全く別の地に降り立ったのではないかと錯覚する程に長崎駅

### ●企業の紹介

周辺は景色が一変します。長崎県庁の移転、国際コンベンションホールやホテルの開業と共にアクセスルートも新しくなります。その後も長崎スタジアムシティの完成予定が令和6年に迫るなど、歴史ある街並みを残しつつ長崎は100年に一度のとても大きな進化と変化の時を迎えようとしています。

私が勤める田上病院は、日当りが良く空気がきれいで自然豊かな長崎市の山の手、大正13年に田上養生園(当時、結核の療養所)として開設され、令和6年9月には100周年を迎える歴史ある病院です。患者さんに対する医療の精神は「暖心」という病院の理念を表す言葉の中に活き続け、現在でも地域密着型の病院として日頃の診療に励み、地域の皆様が気軽に来ていただける病院、そして療養型の病院としてはCT・MRI・電子カルテを早期に導入するな

### ●社会保険委員と委員活動

田上養生園は昭和59年に改築し、田上病院として改名されました。私はちょうどその年に経理事務として入社し、当初から社会保険の得喪や傷病手当・出産手当など事務手続きをすることとなりました。そんな社会保険委員として業務を行ってきた私も今年で還暦を迎え、この38年間を改めて振り返ると、職場での経験や歴史は社会保険委員としての歴史そのものでした。

ただ社会保険委員として淡々と業務を行う日々でしたが、20年程前、ある勉強会をきっかけに社会保険委員会に関わることになり、委員会活動にも率先して参加し広報まで携わるようになりました。その頃、私が所属していた長崎南社会保険委員会では、「研修部会」広

報部会「健康部会」を独自に立上げ、会長を初め20名ほどのメンバーが様々な企画や行事を行っていました。当時の私は健康部長としてウォーキングコースの下見や準備をしながら、委員さんに広く呼び掛けていました。

私にとつての委員会活動の楽しさは、異業種交流の機会が多くなること、年齢に関係なく諸先輩の方々から気軽に声を掛けていただく喜びがありました。他県の委員会の方々との意見交換会などがある初めての県外研修は、長野県と群馬県の各地を回るもので、全国を旅する趣味(今では47都道府県制覇です)の始まりとなりました。現在の社会保険委員会も全国委員研修があります。以前、社会保険校上水研修所で行われた合宿研修は、各自ホテルでの宿泊とは異なり大学時代の合宿を思い出させるほど充実し、その楽しい交流は今のリモート研修では得られない盛り上がりとも自らも成長を感じられたことから、当時の更なる委員会活動意欲にも繋がりました。それは20年経った今でも、鮮明に記憶に残る貴重な経験でした。

そもそも社会保険委員会とは何でしょう。社会保険庁があった頃と現在の年金委員・健康保険委員に分けられた形の社会保険委員会では同じようでも、少し違う形の中で活動している気がしています。これからの社会保険委員会(年金委員と健康保険委員)を素晴らしいものとして次世代に引き継ぐ

### 必要性を感じています。

全国健康保険協会各支部長の委嘱、厚生労働大臣の委嘱で、健康保険委員と年金委員の人数には差が出てしまっている現状。社会保険とは、医療保険、年金保険、介護保険、雇用保険、労災保険など幅広い制度です。そんな中、職域型の私たち社会保険委員(年金委員・健康保険委員)は、年金事務所や全国健康保険協会と企業を繋ぐ立場として、年金保険・医療保険の情報をより分かりやすく職員さんに伝達するなど重要な役割を担っています。健康保険事業も年金事業も事業所とのパイプ役として様々な情報や知識を早期に得られ、企業の職員から信頼を持って相談を受ける立場にいました。働き方改革が進む中、業務分担は事業所にも必要なことかも知れませんが、時代の流れと共に変わりゆくものも確かにあると思えます。ただ便利だから全てリモートにする考え方に変わっていくならば、これからの社会保険委員会は形だけのものになつてしまわないかと危惧しています。

情報だけならインターネットでほとんど収集できる今の時代ならなおさら、社会保険委員はなくても企業の事務担当者が資料を伝達するだけで済むはず。古き良き時代を懐かしんでいるのではなく、いろんな事例の意見交換や問題点のピックアップ、そういう生きた言葉で伝えあう機会が失われつつというより無くなつてしまふ危機感を

持っています。私は社会保険庁長官表彰も厚生労働大臣表彰もいただきました。私には勿体ない身に余る名誉なことだと思えますし、本来ならば厚生労働大臣表彰は社会保険庁長官表彰よりも喜ぶべきものですが、実際は関係者十数人の前で表彰された大臣表彰よりも、長崎県全体の社会保険大会数千人の前で表彰式があった長官表彰の時の印象が強く、大勢の方々から祝っていたことがいい思い出として残っています。表彰に優劣はありませんが、県各地の委員が一堂に会することが無くなった今、これから表彰される方々を委員さんみんなでお祝いしてあげられる社会保険委員会体制を作り、この魅力を次の世代にどう伝えるべきか考えていかななくてはなりません。

現在、長崎県社会保険委員会の理事となつた私は、年金事務所の会議室をお借りして毎月勉強会を開催しています。これこそ私の原点で、年金事務所と健康保険協会の方々には様々なテーマのもと講師になつていただき、私も具体的な事例を挙げながら司会をしています。この勉強会も今年で4年目になります。感染が不安視される中、時代に逆行しているのご意見も承知して、感染対策もしながらのこの勉強会には委員さんの顔が見える機会があり

ます。私はこの時間を大切に、これからも委員さんたちを繋ぐ充実した活動となるように取り組みたいと思います。

### ●おわりに

全国の委員の皆さま、この新型コロナウイルスの状況の中でもご活躍のことと拝察いたします。社会保険委員会の益々の活性化、皆さまのご健勝とご多幸を祈念して結びの言葉とさせていただきます。

(長崎県社会保険委員会副会長)



医療法人保善会田上病院